

やまたらけ

YAMADARAKE

DECEMBER

No.87

2018

見神の滝をみて、 郷愁に浸る

春は芽吹きの新緑に囲まれ、夏は草木が生き生きと生い茂り、秋は見事な紅葉で彩り、冬は厳しい寒さの中に氷柱をつくる氷瀑と、四季折々の姿を見せる「見神の滝」。

近年、雨畑地区の中でも観光名所として知られ、バス旅行の旅先になることや写真家の間で自然風景を撮影する穴場スポットとなっている。現在ではこうした観光資源として有名になった「見神の滝」だが、地元の本村集落ではこの滝を「不動の滝」と呼び、古くからこの地に不動明王を祀り、神聖な場所として集落をあげて守ってきた。

今回は、この雨畑の大自然の中で人々の生活と共存してきたこの滝を取り巻く歴史や文化を紹介する。

(中川裕幾)

見神の滝（不動の滝）

早川町雨畑の標高四〇〇〜一、一〇〇メートルに位置する県有林や民有林の中に、山梨県自然環境保全条例で指定された雨畑湖景観保存地区がある。県営林道八一〇号を本村集落のはずれまで進むと、右手に赤い鳥居があり、そのそばの駐車場からこの滝を眺めら



●文＝中川裕幾、望月千加



れる。「見神の滝」とは、昔ここを訪れた、初代公選県知事の吉江勝保氏が命名し現在では広くその名が知られているが、それまでは「不動の滝」と呼ばれていた。落差は四二メートルで幅三・六メートル（早川町第一位を誇る滝）、県内でも有数の名滝と言われている。二段目の滝壺に金があると言われ、何人かの若者がこれを取って長者になろうと試みたが、断崖絶壁のため、全て失敗したという話が残っている。寒中は、下の方から氷が盛り上がってきて、その量が多いほど、その年は豊作になると言われている。

藤井日達上人

一八八五〜一九八五年、熊本県生まれ。一九一八年（大正七年）中国遼陽に最初の日本山妙法寺を開創して以来、中国各地をはじめ国内外に次々と日本山妙法寺を開いた。インドに渡った際は、マハトマ・ガンジーと交流されたこともあり、非暴力・世界平和に献身した世界的に著名な僧侶である。

見神の滝には昭和四九年に訪れ、石碑や銘標「本妙の滝」を滝壺周辺に建立した。「『本妙』の滝」とは、「本妙日臨律師（※）」を指すと考えられる。昭和五七年の大型台風でこれらは流失損耗したが、地元大昭建設が回収修復し現在地におさめた。

※本妙日臨律師：「本妙日臨律師の研究（注）」によると、本妙日臨律師は文化二二（八一四）年、雨畑に辿り着き、そこで荒行をし七日七晩で悟りを開いたと記されている。藤井日達上人は、本妙日臨律師が訪れたゆかりある地のため、そこから「本妙の滝」と名付けたと考えられる。

注：・桑名法晃「本妙日臨律師の研究」、二〇二〇三、六三〜一七七、身延論叢、身延山大学仏教学会

不動明王



「お不動さん」の一場面



「お不動さん」の一場面

不動明王とは、悪魔・煩惱を調伏し、村を火災・水難から守る大切な神様であり、また酉年の守り神とも言われている。地元の人々は、古来から不動の滝の脇に不動明王を祀り崇敬してきた。石像をよく見ると、右手に剣、左手に数珠を持つ不動明王であることが分かる。

硯島



※見神の滝までの道のり

鳥居をくぐり鉄骨の階段を上ると、その上に岩をくり抜いただけの小さな祠があり、石の御神体が祀られている。「酉不動」とも呼ばれており、長い間、酉年生まれの方が管理してきたが、現在では本村集落をあげて毎年2回、「お不動さん」という呼ばれ方をしたお祭をしている。

以前の鳥居は老朽化と、平成一九年の強風により倒壊してしまった。そこで、本村集落の酉年生まれの男性で形成された「酉年会」が中心となり、寄付・奉納を募り、同年鉄製の鳥居を再建した。



鳥居から石碑・銘標「本妙の滝」、不動明王までの位置関係を動画で撮影しました。動画でもお参りできます。上のQRコードを読み取るか、インターネットで「雨畑 不動明王」とキーワード検索をしてみてください。



鳥居をくぐり階段を上り始めてすぐ右手におさめられている

根岸政平さん まさへい

明治時代に活躍していた本村の硯職人。根岸源吉さんの奥さんの曾おじいさん。現在置かれている不動明王の前のものを根岸政平さんが作った。一八七三年（明治六年）のウィーン万博では日本政府が初めて公式に万国博覧会に参加し、国を挙げて取り組んだと言われているが、政平さんの硯材が出版された。さらに、天皇陛下にも作品を献上していたそう。周囲からは蜘蛛の巣と蜂の巣以外は何でも作ることができると言われるくらいの腕前だったそう。硯石で作られた坐像は政平さんの父栄兵さんがモデルとの事。政平さんや息子治七さん作の硯は「根岸愛石」として世に出されていた。また、集落の正徳寺には太鼓の施主として、政平さんの名前が掘られている。硯職人としてだけではなく集落をこえて貢献してきた姿が伺える。

研究資料

ウィーン万国博覧会出品目録草稿（美術工芸欄）（二）



「愛石」と掘られた硯



不動明王（現在）



不動明王（過去）根岸政平さん作



望月三千生さん

六三歳。根岸家とは遠い親戚。主な職歴は、損害保険会社や建設会社、南アルプス市のNPO法人に勤務。雨畑で生まれた。先祖代々、本村に住んできた。集落内のお寺や神社などの檀家総代を務め、地元の歴史や言い伝えなどに造詣が深い。さらに、ライフワークとして、地元の文化を掘り起こし、個人のブログで発信している熱意と行動力のある知識人。



根岸源吉さん

九一歳。根岸政平さんの曾孫であるすみ子さんの旦那さん。主な職歴は、林業や電力会社に勤務。雨畑で生まれ、雨畑で育った。戦争体験など様々な困難を乗り越え、その知識をユーモアを交え話していただいた。本村だけでなく町にも貢献してきた、本村を語る上で欠かせない寛大かつぬくもりのある生き字引。

取材をさせていただいた方々



正徳寺で使われている
「根岸政平」の名が掘られた太鼓



硯石で作られた坐像
根岸政平さん作

出典:横溝廣子、ウィ
ーン万博博覧会出品
目録草稿(美術工芸
編)(二)、美術研究
第358号 P4

あとがき

「雨畑地区を代表する観光名所の一つになっている「見神の滝」は、地元で長年住む住民によって不動明王とともに「不動の滝」として大切に守られてきた。この場所には平和活動を行った世界的に著名な僧侶が訪れたことや、国を代表し地域にも多大な貢献をした硯職人が存在したことがわかった。大自然と共存してきた集落。その中で、大切に受け継がれてきた文化に様々な人々が関わり、歴史が紡がれてきたことを知ることができる。

今回紹介した内容は、この滝の歴史の中のほんの一部に過ぎない。それでも、先人達の功績や願いを現代に生きる私達が受け取り、それを受け継ぐ事の大切さを充分に感じる事ができた。この集落の文化や歴史の奥深さと素晴らしさを多くの方に知っていただき、改めて「不動の滝」を眺めてみていただきたい。」

【取材に協力していただいた主な機関】

硯匠庵、潤雨山正徳寺、身延山大学 附属図書館

2月16日～18日
3月16日～25日

南アルプス生態邑イベント

ナイトサファリプラン 野生動物を探そう

自然豊かな早川町の夜は様々な生き物が活動しています。動物たちに出会うために、サーチライトを持ってナイトサファリへ出発！観察中はガイドが動物たちの行動や生態を解説します。車の中からの観察が中心なので、小さいお子さんでも安心してご参加いただけます。

日程：2019年2月16日（土）～18日（日）
2019年3月16日（土）～25日（月）それぞれ期間中の1泊2日
対象：小学生以上
参加費：大 人：8,000円（1泊2食付・税込）
子ども：7,300円（1泊2食付・税込）
定員：9名/日
締切：各宿泊日の3日前まで
申込：南アルプス生態邑/ヘルシー美里
TEL：0556-48-2621 FAX：0556-48-2622
HP：<http://www.hayakawa-eco.com/>
E-mail：info@hayakawa-eco.com



1月
26日～27日

南アルプス生態邑イベント

古民家の庭先でみそづくりツアー

山深い早川町では味噌は昔から暮らしに根ざした重要な調味料でした。このツアーでは、古民家の庭先で杵と臼をつかって豆をつぶして、昔ながらの手法でみそを作ります。作ったお味噌はご自宅で1年寝かせて完成です。煮込んでいる間に、地元の簡単お味噌レシピに1品挑戦してみましょう！

日程：2019年1月26日（土）～27日（日）1泊2日
対象：中学生以上
参加費：14,000円（1泊3食付・税込）
定員：16名
締切：2019年1月19日（土）（先着・定員になり次第締切）
申込：南アルプス生態邑/ヘルシー美里
TEL：0556-48-2621 FAX：0556-48-2622
HP：<http://www.hayakawa-eco.com/>
E-mail：info@hayakawa-eco.com



赤沢宿 宿の駅清水屋
冬季休業のお知らせ

冬季休業：2018年12月19日（水）～2019年1月17日（木）
営業再開は、2019年1月18日（金）とさせていただきます。
問い合わせ連絡先：赤沢宿 宿の駅清水屋 0556-45-3232



浜田屋商店
電話 0556-48-2311

南アルプス街道の交通安全と
清流早川の自然を守ることを永遠のテーマに
地域社会の発展に貢献する事を目指します。

早川砂利協同組合

理事長 井上聡一郎
山梨県南巨摩郡早川町小縄 26
電話 0556-45-2450

新築、改築、マイホームの事なら何でもおまかせ

日本建築のプロフェッショナル

株式会社 望月工務店

〒409-2713 山梨県南巨摩郡早川町保 1766
TEL・FAX 0556-45-2661

毎分 1,630 ℓ 湯温 52℃の掘削自噴火温泉では日本一を誇る新湯湧出
全てのお風呂、客室風呂、給湯、シャワーに至るまで 源泉掛け流し

全館源泉掛け流しの宿

西山温泉 慶雲館

〒409-2702
山梨県南巨摩郡早川町西山温泉
TEL 0556-48-2111
FAX 0556-48-2611 <http://www.keitunkan.co.jp>

奈良田温泉
七不思議の湯

白根館

日本秘湯を守る会々員
山梨県南巨摩郡早川町奈良田 344
電話 0556-48-2711
FAX 0556-48-2770
www.hakoya.com/~chomoshan/

早川町で感動体験を・・・
南アルプス生態邑
光源の里温泉 ヘルシー美里
南アルプス邑野鳥公園

ご予約・お問い合わせ
TEL/0556-48-2621
<http://www.hayakawa-eco.com/hmisato/>

2018 冬 早川町観光イベントニュース！

2月2日～
3日

南アルプス生態邑イベント

早川ジオツアー 南アルプスの大地に迫る

日本列島の境目「フォッサマグナ」、早川町はその西端に位置しています。国の天然記念物「新倉の逆断層露頭」などの大地が押し合った様々な力の痕跡を巡るツアーです。様々な種類の石や貝の化石を探しながら、南アルプスの成り立ちを感じましょう。併せて大地の恵みの温泉や食事を楽しみください。

2019年2月2日（水）～3日（日）1泊2日

対象：中学生以上

参加費：14,000円（1泊3食付・税込）

定員：16名

締切：2019年1月26日（土）（先着・定員になり次第締切）

申込：南アルプス生態邑/ヘルシー美里

TEL：0556-48-2621 FAX：0556-48-2622

HP：<http://www.hayakawa-eco.com/>

E-mail：info@hayakawa-eco.com



2月15日～
28日

南アルプス生態邑イベント

早川ぶらり町歩きプラン 福寿草咲く宿場町・赤沢

江戸時代から昭和初期にかけて賑わい、今も当時の町並みが残る赤沢宿を散策してみませんか？ガイドが赤沢宿の歴史や文化を紐解きながらご案内します。当時の様子に思いを馳せながら、集落の人に大切にされ、昔から変わらずに咲く福寿草やセツブンソウも鑑賞しましょう。



2019年2月15日（金）～28日（木）期間中の1泊2日

対象：小学生以上

参加費：大人：9,500円（1泊3食付・税込）

子ども：8,300円（1泊3食付・税込）

定員：9名/日

締切：各宿泊日の3日前まで

申込：南アルプス生態邑/ヘルシー美里

TEL：0556-48-2621 FAX：0556-48-2622

HP：<http://www.hayakawa-eco.com/>

E-mail：info@hayakawa-eco.com

地域発展のお手伝い！地域の暮らしを守る！

早邦建設株式会社

【本社】〒409-2732 山梨県南巨摩郡早川町高住 645-27
TEL.0556-45-3000 FAX.0556-45-2288
【生コンクリートプラント】TEL.0556-45-2700
<http://www.soho3000.com/>

太めで噛みごたえのある、
香り豊かな昔ながらの
「田舎そば」

そば処
アルプス

【平日】11:30～15:00 【土日】11:30～18:00
山梨県南巨摩郡早川町黒柱564-1
※営業定休 ※お休みの場合は要確認
ホームページ h-alps.jimdo.com

日新火災海上保険 代理店
日新火災

幡野保険事務所

〒409-3306
山梨県南巨摩郡身延町夜子沢4020
TEL 090-8014-1337
FAX 0556-42-3073

大好き！おじさん文庫

深山さくら・作
小さな小学校に、見知らぬおじさん
から毎月届く、「本を買ってください」
という手紙とお金。子どもたちは、
そのお金で買った本が大好き！
おじさんはどんな人だろう？

定価 1,200円＋税 ■128ページ ■A5判
ISBN978-4-580-82353-2

〒113-0023 東京都文京区向丘2丁目3番10号
☎(03)3814-5187 FAX(03)3814-2157

文研出版

霊峰七面山の登山口であなたの旅を支える

株式会社
俵屋観光
バス ジャンボタクシー

有限会社
俵屋旅館
宿泊 宴会 法事などに

〒409-2732
山梨県南巨摩郡早川町高住 621
電話 0556-45-2500

早川町が
生き残る道は
自然を守ることにある

西山温泉 元湯 **蓬萊館**

〒409-2702 山梨県南巨摩郡早川町湯島 73
TEL：0556-48-2211(代)/FAX：0556-48-2366



やまっこの冒険



No.05 早川中学校 白鳳祭

早川中学校は、昭和60年に早川北中学校と早川南中学校が統合され、今年で創立33年目を迎えました。現在全校26人の小規模学校ではありますが、生徒それぞれの考え方や見方を尊重した教育を進めています。

代表する学校行事は白鳳祭です。演劇や合唱などを披露する文化部門と、全校大縄や1000メートル本気リレーなどの体育部門から成っています。

今回は、6年前に東京都から移住し、お子さん3人全員を早川中学校に通わせている小森さんに、早川町での暮らしやお子さんの中学校生活、さらには白鳳祭にかける思いなどを伺いました。

移住のきっかけ、移住後のお子さんの変化など

小森さん一家の移住のきっかけは、当時小学生の子育て環境に違和感があったからだそうです。小森さん自身も田舎暮らしの希望もあり、仕事関係で早川町の田舎の特集を見つけたことや娘さんが、家族で生き生きと田舎で暮らすアニメ映画を見て心が動いたことなどが重なり、移住を決心しました。当初の予定では1年でしたが、お子さん達は「まだいたい」と言っていたため、こうして今も住み続けているそうです。

お子さんの中学校生活、白鳳祭について

中学校生活は、「1、2年生は生徒同士上手い出来ないこともある。だけど、3年生になる頃にはお互いの長所や短所を理解し、離れられないくらい深い絆で結ばれる。卒業後もよく同窓会をしているほど。」と微笑ましく語ってくれました。白鳳祭が近づいた時には、OBであるお姉さんが兄弟と思いを分かち合うことがあるそうです。白鳳祭は、お姉さんにとってそれほど思入れのある行事なのでしょう。白鳳祭の見所は、迫力のある白鳳太鼓と、少人数であるからこそ発揮される当事者意識とひたむきさだと言います。

中学生の熱意や完成度に圧倒され、町内全体としても心から中学生の活躍や成長を応援している雰囲気が伝わり、とても温かな気分になります。

次回予告！(2019年3月上旬お届け) No.88

2017年から京ヶ島で始まった「花しょうぶ園まつり」を取り上げます。
現在までに至った経緯などについて詳しく紹介します。

生命保険、損害保険のことなら
株式会社 さいとうエージェンシー
tel.055-280-3360 fax.055-280-3361

自動車販売、オートリース、レンタカーのことなら
有限会社 S・T・E・P
tel.055-280-3350



〒400-0422 山梨県南アルプス市荊沢 1356-1

**防災
用品**

非常用アルファ米・保存水・発電機
簡易トイレ・防災用毛布・テント等

オフィス事務機(有)

〒409-3244

山梨県西八代郡市川三郷町岩間 2077

TEL.0556-32-1003 FAX.0556-32-1004

やまだらけ定期購読のお願い

「やまだらけ」では、今後も「山の暮らしの価値」と、それを後世に守り伝える人々の活動を応援して参ります。

やまだらけは、広告料と会員の皆様の会費で成り立っています。会員の皆様には、やまだらけを毎月お届けいたします。会員として、この取り組みを支えてください。

【年会費】正会員：10,000円 賛助会員：3,000円

【振込先】ゆうちょ銀行 〇二九店
当座 0095644

【名義人】特定非営利活動法人
日本上流文化圏研究所

今回は、本村集落に長年在住している方々を中心に取材をさせていただきました。他にも多くの方に協力していただきました。本当にありがとうございました。お陰様で、この集落の輝かしい歴史を知り、それを発信できました。大変な感謝と同時に光栄に思います。(望月千加)

山を覗けば宝の山

やまだらけ

発行元/NPO法人日本上流文化圏研究所
住所/山梨県南巨摩郡早川町葉袋430
電話/0556-45-2160 FAX/0556-45-2268
<https://joryuken.jimdo.com/>



～小森さんプロフィール～

・古民家カフェ鍵屋GM。フォトグラファー。
・3人のお子さん(現在高校生の娘さん、中学生2人の息子さん)のお母さん。

